

# 令和3年度施政方針

## 力強い産業が発展するまち 関連事業総額 7,087万円

### 基本姿勢と方向性

■市が新たに**大学などと連携協定**を締結し、市内企業が大学・研究機関の持つ科学的知見や最新技術などのリソースを活用して、生産性向上や新製品開発などの研究開発を行えるようつなげることで、既存の産業へ新たな付加価値の付与を支援します。

■農業の持つ可能性を最大限引き出し、経済循環を図るための府中市初の**農業振興ビジョン**を策定し、実行に移します。

■コロナによって影響を受けた事業所の**事業継続支援**については、引き続き機動的に対応していきます。

■ICTを利用した新たな事業展開や販路開拓に取り組むための助成、新たな就職マッチング、対事業所サービスの集積強化に向けた**IT人材やオフィス誘致**にも着手し、コロナ禍での**経営基盤を強化**するための支援を行います。

### 施策の主なものを紹介

#### 重点施策の主なもの

- ▷大学との協働による市内企業の研究開発の助成
- ▷寄附講座による学生獲得
- ▷ICT・Webを活用した見本市やEコマース、web就活の取組支援
- ▷農業振興ビジョン策定
- ▷産業団地調査検討
- ▷IT・デザイン関係などのサテライトオフィス誘致
- ▷獣害対策
- ▷企業・飲食店支援（コロナ関連）

### 重点の中でも、新規などの説明と予算額を紹介

#### 産学官連携支援 **新規**

**目指すところ 300万円**  
▷企業が抱える技術課題の解決や事業化など新たな価値の創造します。  
▷大学生の市内企業への就職機会の創出します。

#### 経費の一部助成

企業が大学や工業技術センターなどの研究機関と協力して行う、技術的な課題解決や新製品開発などの取り組みを支援します。

#### ビジネスチャンス拡大支援

**事業展開支援 3,770万円**  
▷新たにWeb展示会への出展支援など  
▷起業者への補助要件拡大

## 人・つながりが育つまち 関連事業総額 7,450万円 ※令和2年度補正分を除く。

### 基本姿勢と方向性

■**子育てワンストップ相談窓口**を、令和3年7月にi-coreFUCHU内に開設し、上下地域では中山間地域のモデルとなる、全世代を通じた相談機能を持つ三玉プロジェクトの令和4年4月開設に取り組みます。

■県内でもいち早く導入した児童生徒1人1台のPC端末の優位性を活かし、授業改善やオンライン学習、県内トップのデジタル図書館の活用などにより学びの深化に取り組みます。また、**独自カリキュラム**やプログラミング教育を市内全校に浸透させることにより、論理的思考力や協働による課題解決力を高め、ミライに活躍する人材を育成するため、子どもたちの教育環境づくりに先進的に取り組みます。

■地域と学校が「学び」を通して協働するコミュニティスクール、幼保小連携、上下高校の魅力づくりをはじめとした市内3公立高校との連携を強化します。

■県と共同開発しているAIによる子どもの予防的支援システムの運用開始、子ども家庭総合支援拠点の設置、専任スクールソーシャルワーカーの配置、校内適応指導教室の増設など、子育て教育のセーフティネットの充実を図ります。

#### 重点施策の主なもの

- ▷府中版ネウボラの実現（i-coreFUCHU・三玉プロジェクト）
- ▷教育課程研究センターの設置
- ▷GIGAスクール
- ▷プログラミング教育
- ▷独自の言語技術指導カリキュラムLAF（Language Arts for Fuchu）
- ▷AIによる子どもの予防的支援システム
- ▷虐待防止に向けた連携組織の強化
- ▷学びのセーフティネット
- ▷上下高校支援
- ▷デジタル図書館の幅広い活用

#### 府中版ネウボラ

**4,658万円**  
母子保健と子育て支援を兼ねたワンストップ窓口を作り、利用者サービスの利便性を高めます。子育ての専門知識を持つ保健師、助産師、保育士などによるきめ細かい支援体制で、安心して子育てできるようサポートします。

#### 府中市独自カリキュラム「ことば探究科」の実施 **1,209万円**

令和3年度から府中市独自カリキュラムとして小中一貫教科「ことば探究科」の学習を実施し、言語能力などの児童生徒の資質・能力のより着実な育成につなげていきます。

#### 教育課程研究センターの設置

小中一貫教育、コミュニティ・スクール、GIGAスクール構想の実現、新教科「ことば探究科」の実施など、府中市の「教育課程」の研究機構として教育課程研究センターを設置します。

## 活気・賑わいを生むまち 関連事業総額 4億1,596万円 ※令和2年度補正分を除く。

### 基本姿勢と方向性

■府中市の新たなにぎわい形成のリーディング事業であるi-coreFUCHUを7月にオープンさせ、屋内広場・5Gを活用したトライアルプログラムを実施することで、共感を呼び、市民・市内企業の皆さんとともにプロジェクトを成長させていくとともに、2期整備に向けた検証・実施計画を策定します。

■**B&Gプールの建替調査**や芝生グラウンドの整備、オンリーワンスポーツであるゼロハンカーレース、ハイブリッドマラソン大会の実施など、スポーツを通じた新たなにぎわい創出に取り組みます。

■withコロナでの安心・健康が注目されるなか、新たな観光コンテンツであるワーケーションなどキャンプ場の魅力づくり、快適・安心な観光の基本となるトイレ環境整備に取り組むほか、府中市らしい「ライフスタイル・ツーリズム」に向けた地域資源を活かした多様なプロダクト開発に、観光協会・市内企業・地域の皆さんと一体となって取り組んでいきます。

#### 重点施策の主なもの

- ▷i-coreFUCHU
- ▷大学と連携した関係人口呼び込み（府中市版ワーキングホリデー）
- ▷サテライトオフィス・IT人材誘致
- ▷ワーケーション・キャンプ場
- ▷観光地トイレ整備
- ▷複合型の新たな市民プール基本構想・芝生グラウンド整備
- ▷only-oneスポーツ（EV&ゼロハンカーレース・ハイブリッドマラソン）

#### 駅周辺の賑わいづくり

**5,392万円**  
7月にオープンするi-coreFUCHUでは、第1期で府中版ネウボラと屋内広場、多目的スペースを整備し、にぎわい創出のため、広場、多目的スペースでの定期的なイベントも開催します。また、広場、多目的スペースを活用しトライアル（実証実験）を行う事で、市民や利用者ニーズを把握します。その結果も踏まえながら第2期整備で、「憩い」「学び」「チャレンジ」を実現できる場を創出できるよう、プレイヤーの発掘とコンテンツの検討を行っていきます。